

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
専攻実技 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	尾崎久美子/Maliya 横山愛実/大森祐斗			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
尾崎久美子 / 数々のレコーディングにコーラス・コーラスアレンジ等で参加。現在は専門学校のヴォーカル講師をメインに、コーラスとして live サポートの依頼も受けている。弾き語り、ダンスボーカル、Liveパフォーマン、ボイストレーニング等、様々なジャンルに対応し、学校での個人レッスンではそれぞれの個性を活かしながらスキルアップへと導いている。【主なコーラス参加アーティスト】上戸彩、石井竜也、鈴木雅之、鈴木聖美、光永亮太、SR-Smoothy、松本莉緒、下川みくに、Micro、Tasty Jam、菅原紗由理、佐藤亜美菜、等											
授業概要											
各自、自分がやりたいスタイルを考え、選曲やステージパフォーマンスをマンツーマンで相談しながら決めていく。他のアンサンブル、コーラス、ボイトレ等で学んだことをどのように活かせばいいのか、それぞれのスタイルによって違ってくるのでよく理解した上で指導したい。またステージパフォーマンスを客観的に見る目を養うことも必要となるため、授業でのパフォーマンスは必ず動画に録画し、見直すことを課題とする。											
到達目標											
自分が目指すスタイルで、オリジナル楽曲を持ち（自分で作曲する）学内のイベントやオーディション、また外部でのライブ、配信、オーディションに出演できるレパートリーとする。											
授業方法											
マンツーマンの授業スタイルで、週に2限行う。この授業がボーカルコースの核となり、指導の中心となるので丁寧にわかりやすく、日頃どのように練習すればいいのか、ポイントを毎回伝えるようにする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	各学生にやっていきたいスタイルをヒアリング										
第2回	レベルチェックを含めた任意の楽曲歌唱、その改善点 1										
第3回	レベルチェックを含めた任意の楽曲歌唱、その改善点 2										
第4回	同じクラスの 3 ～ 5 名で各自の動画を見て意見交換（自信を客観的に見る事が出来るか）										
第5回	ステージパフォーマンスについてそれぞれの課題 1										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
専攻実技 1	
第6回	ステージパフォーマンスについてそれぞれの課題 2
第7回	実際にステージ上で歌ってみる（実践によりその難しさを知る）
第8回	任意の曲と課題曲の指導 1
第9回	任意の曲と課題曲の指導 2
第10回	任意の曲と課題曲の指導 3
第11回	実際にステージ上で歌ってみる（モニターバランスのとり方、バンドとのコミュニケーションの方法等）
第12回	発表会を念頭にした任意曲、課題曲 1
第13回	発表会を念頭にした任意曲、課題曲 2
第14回	発表会を念頭にした任意曲、課題曲 3
第15回	全員が参加をする前期のまとめである発表会 この授業全ての講師から添削を貰う。